

2014年度 第2四半期 決算概要

2014年 10月31日
パナソニック株式会社

2

本日の説明要旨

➤ 第2四半期(3ヶ月)

- ✓ **売上** : 課題事業の減収もあり前年並
- ✓ **営業利益** : 全セグメント*で増益
- ✓ **ネット資金** : 5年ぶりの黒字化

*「その他」を除く

➤ 年間業績見通し

- ✓ **上方修正** : 営業利益は中期計画を前倒しで達成へ

連結決算概要

(億円)

		14年度 2Q	13年度 2Q	前年比 / 差	
	国内	8,925	9,224	97%	
	海外	9,781	9,594	102%	(98%)*
売上高		18,706	18,818	99%	(97%)* ▲112
営業利益		947 (5.1%)	824 (4.4%)	115%	+123
税引前利益		668 (3.6%)	848 (4.5%)	79%	▲180
当社株主に帰属する 当期純利益		430 (2.3%)	615 (3.3%)	70%	▲185
為替 レート	1USドル	104円	99円		
	1ユーロ	138円	131円		
	1人民元	16.85円	16.17円		

* 為替の影響を除いた
現地通貨ベース(非監査)

連結決算概要(累計)

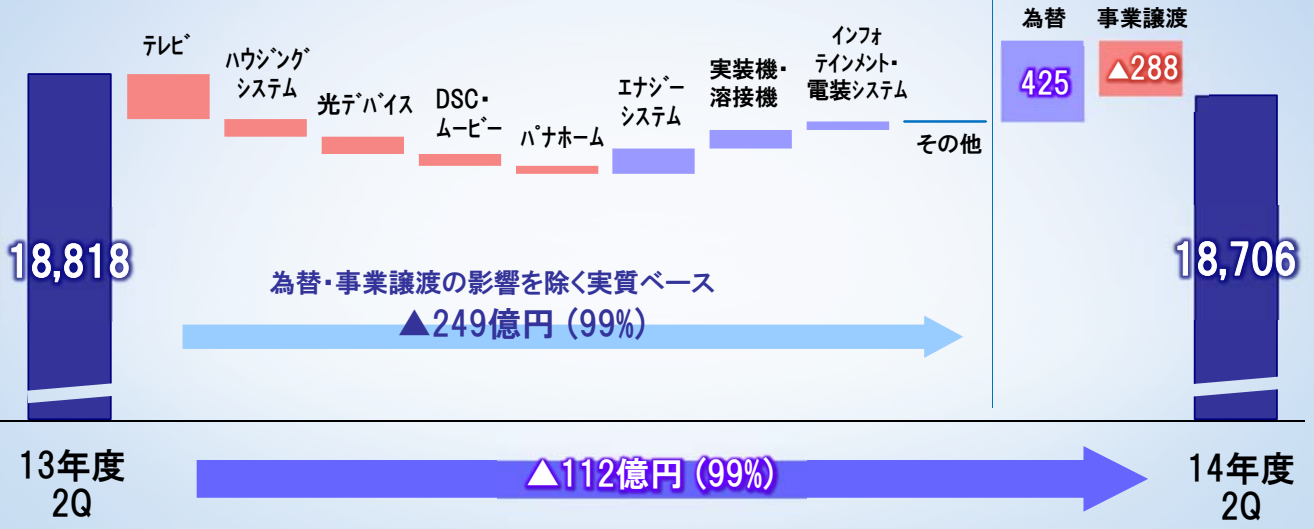
(億円)

		14年度 2Q累計	13年度 2Q累計	前年比 / 差	
	国内	17,499	17,873	98%	
	海外	19,730	19,190	103%	(99%)*
売上高		37,229	37,063	100%	(99%)* +166
営業利益		1,770 (4.8%)	1,466 (4.0%)	121%	+304
税引前利益		1,219 (3.3%)	2,074 (5.6%)	59%	▲855
当社株主に帰属する 当期純利益		809 (2.2%)	1,693 (4.6%)	48%	▲884
為替 レート	1USドル	103円	99円		
	1ユーロ	139円	130円		
	1人民元	16.63円	16.11円		

* 為替の影響を除いた
現地通貨ベース(非監査)

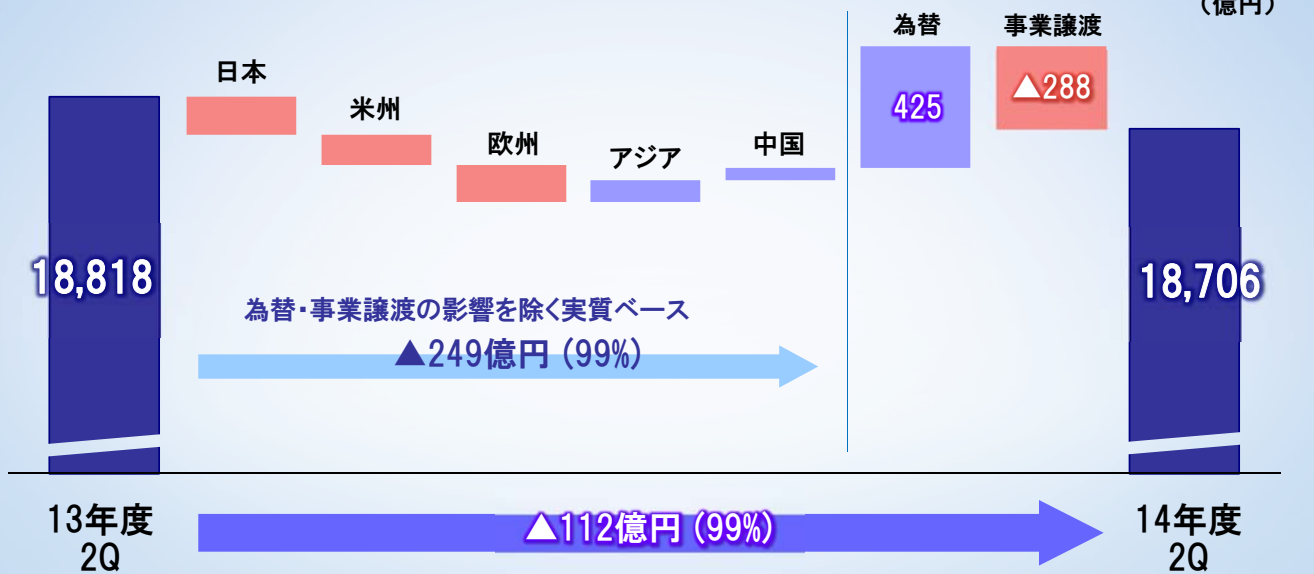
主要商品別 売上高分析(前年差)

(億円)



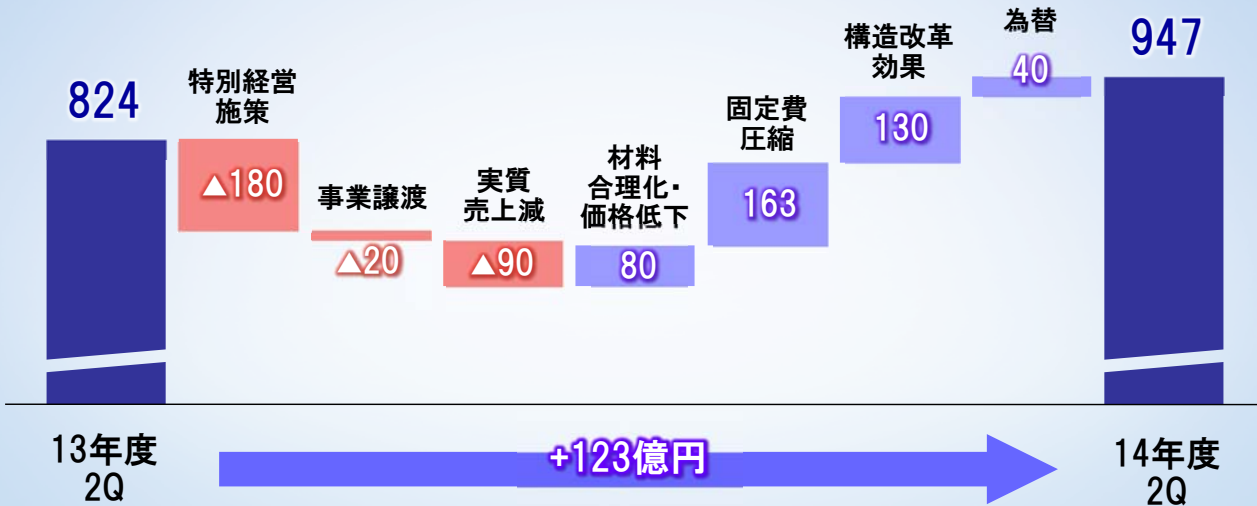
地域別 売上高分析(前年差)

(億円)



要因別 営業利益分析(前年差)

(億円)



営業外損益等

(億円)

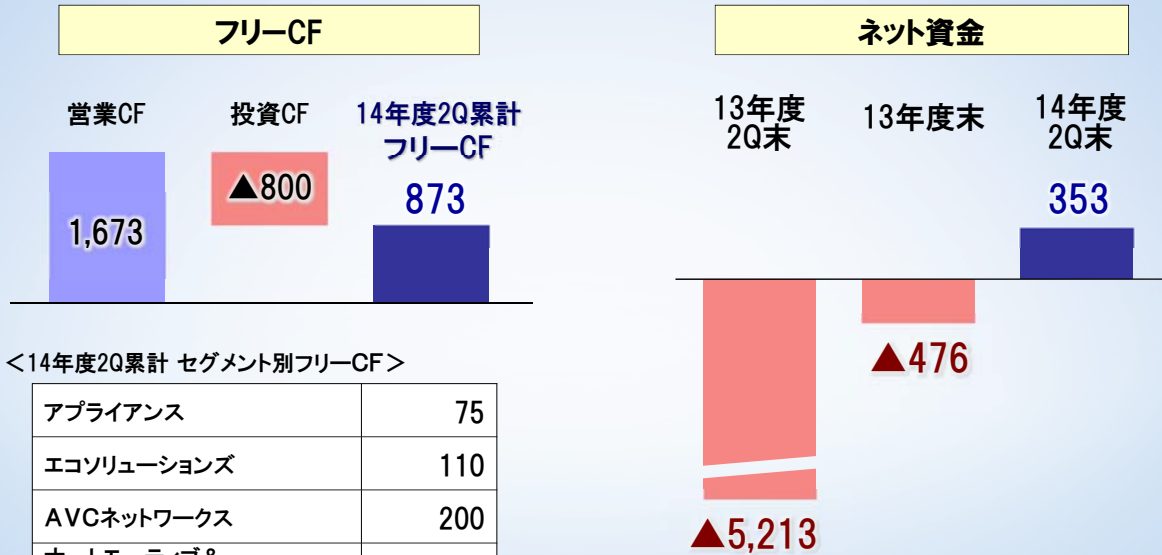
	14年度2Q	前年差
営業利益	947	+123
営業外損益*	▲279	▲303
税引前利益	668	▲180
法人税等	219	▲13
持分法による投資利益	31	+13
非支配持分帰属利益控除前当期純利益	480	▲154
非支配持分帰属利益	50	+31
当社株主に帰属する当期純利益	430	▲185

* 営業外損益の内訳

事業構造改革費用	▲55	+3
早期退職一時金	▲13	+3

フリーCF・ネット資金

(億円)



セグメント別実績

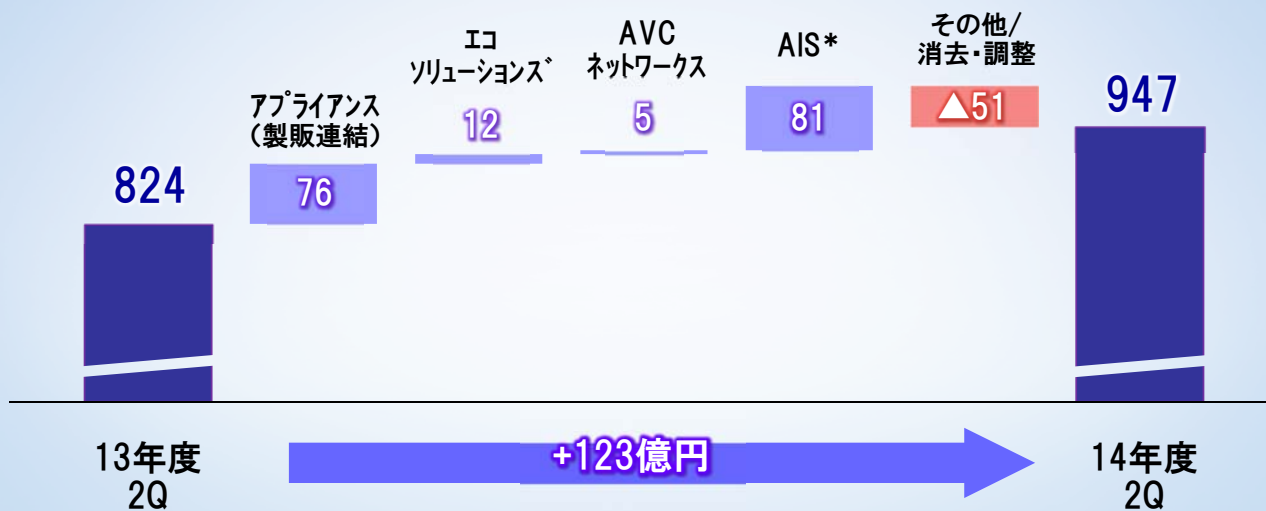
(億円)

	2014年度2Q				2014年度2Q累計			
	売上高	前年比	営業利益	前年差	売上高	前年比	営業利益	前年差
ア プ ラ イ ア ン ス	4,447	101%	98	+75	9,164	101%	324	+189
エコソリューションズ	4,060	101%	256	+12	7,904	102%	418	+22
A V C ネットワークス	2,739	94%	70	+5	5,316	97%	39	+63
オ ー ト モ ー テ ィ フ & インダストリアルシステムズ(AIS)	7,000	102%	339	+81	13,782	102%	522	+42
そ の 他	1,547	81%	39	▲43	2,979	82%	19	▲47
消 去 ・ 調 整	▲1,087	—	145	▲7	▲1,916	—	448	+35
連 結 決 算	18,706	99%	947	+123	37,229	100%	1,770	+304
アプライアンス(製販連結)*	5,600	100%	85	+76	11,730	101%	412	+192

*「アプライアンス(製販連結)」には、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高および営業利益を含んでおります。

セグメント別 営業利益増減(前年差)

(億円)



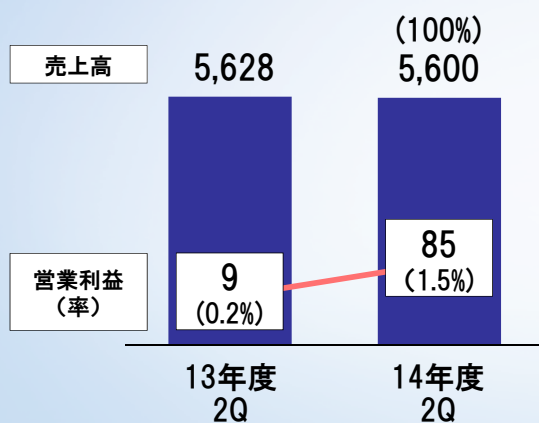
*オートモーティブ&インダストリアルシステムズ

セグメント別実績

アップライアンス(製販連結)

(億円)

<14年度2Q 実績>



売上

前年並

- PDP終息に伴うテレビの販売減
- 白物商品、デバイスが堅調に推移

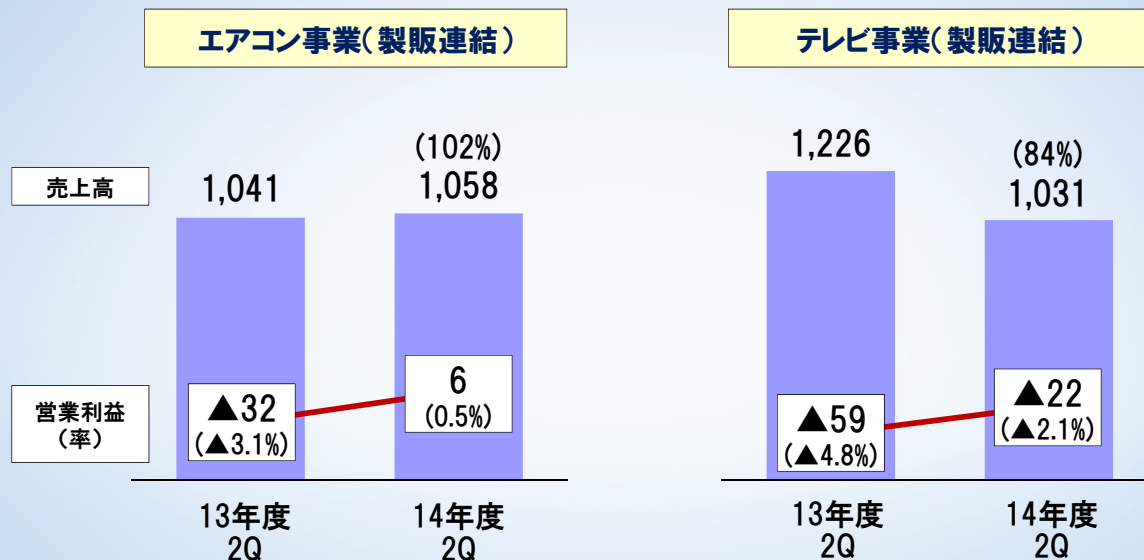
営業利益

増益

- 課題事業の収益改善
- デバイス事業の増益

アプライアンス 主要課題事業の実績

(億円)

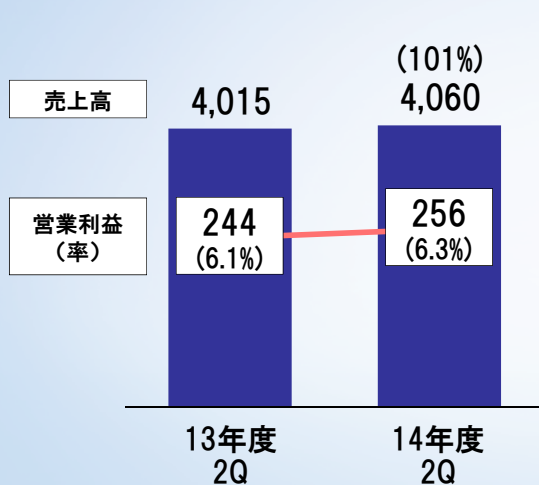


セグメント別実績

エコソリューションズ

(億円)

<14年度2Q 実績>



売上

増収

- 国内は住宅用ソーラー、LED照明が好調に推移
- 海外はVIKO社新規連結に加え、戦略地域で伸長

営業利益

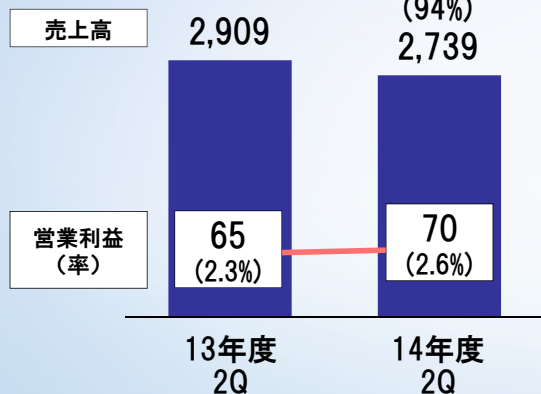
増益

- ソーラーの販売増、合理化等の取り組みが寄与

セグメント別実績

AVCネットワークス

(億円)



<14年度2Q 実績>

売上

減収

- 堅牢PC・プロジェクター等で販売増
- プラズマパネル等、課題事業改革に伴う販売減

営業利益

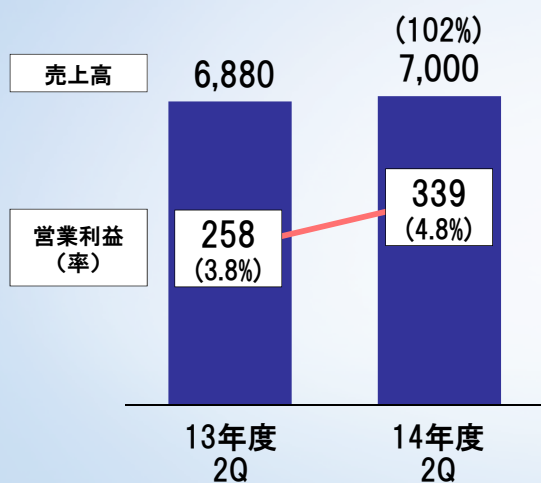
増益

- 堅調なBtoB事業の増販と、事業構造改革効果で増益

セグメント別実績

オートモーティブ&インダストリアルシステムズ (AIS)

(億円)



<14年度2Q 実績>

売上

増収

- インフォテインメント等の車載向けや、電子部品実装機の販売が堅調

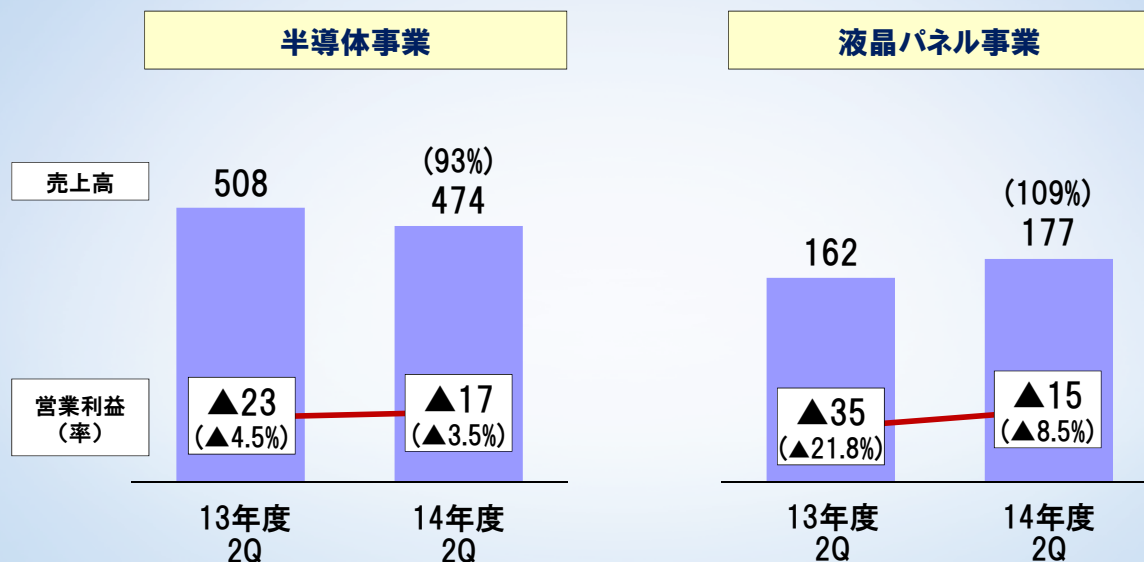
営業利益

増益

- 増販に伴う利益増
- 課題事業を中心とする構造改革や、合理化効果

AIS 主要課題事業の実績

(億円)



2014年度 年間業績見通しの修正

(億円)

	2014年度 年間見通し	当初公表	修正額
売上高	77,500	77,500	—
営業利益	3,500 (4.5%)	3,100 (4.0%)	+400
税引前利益	1,600 (2.1%)	1,200 (1.5%)	+400
当社株主に帰属する 当期純利益	1,750 (2.3%)	1,400 (1.8%)	+350
フリー・キャッシュフロー	2,000 以上	1,000 以上	
為替レート	1USDドル	105円	105円
	1ユーロ	138円	135円
	1人民元	16.82円	17.20円

セグメント別見通しの修正

(億円)

	2014年度 年間見通し				修正額	
	売上高	前年比	営業利益	前年差	売上高	営業利益
ア プ ラ イ ア ン ス	17,790	100%	375	+80	▲400	—
エコソリューションズ	16,370	98%	825	▲96	—	+200
A V C ネットワークス	11,400	99%	470	+113	—	—
オートモーティブ & インダストリアルシステムズ	27,660	102%	1,005	+313	—	—
そ の 他	7,000	79%	100	▲143	—	—
消 去 ・ 調 整	▲2,720	—	725	+182	+400	+200
連 結 決 算	77,500	100%	3,500	+449	—	+400

Panasonic

本プレゼンテーションには、パナソニックグループの「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本プレゼンテーションにおける記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたパナソニックグループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受けるおそれがあります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示されるパナソニックグループの将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。パナソニックグループは、本プレゼンテーションの日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、金融商品取引法に基づく今後の提出書類およびその他の当社の行う開示をご参照下さい。

なお、上記のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、次のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照下さい。

- 米州、欧州、日本、中国その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- 多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の過度な変動により外貨建てで取引される製品・サービスなどのコストおよび価格が影響を受ける可能性
- 資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- 急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低コストで投入することができない可能性
- 他企業との提携またはM&Aで期待どおりの成果を上げられない可能性
- パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向（BtoB（企業向け）分野における、依存度の高い特定の取引先からの企業努力を上回る価格下落圧力や製品需要の減少等の可能性を含む）
- 多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持することができなくなる可能性
- 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- 諸外国による現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制への何らかの規制等（直接・間接を問わない）
- パナソニックグループが保有する有価証券およびその他資産の時価や有形固定資産、のれんなどの長期性資産および繰延税金資産等の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- 地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他パナソニックグループの事業活動に混乱を与える可能性のある要素

(参考)事業部一覧

アプライアンス

エ ア コ ン 事 業 部
冷 熱 空 調 デ バ イ ス 事 業 部
冷 蔵 庫 事 業 部
コ ー ル ド チ ェ ー ン 事 業 部
ラ ン ド リ ー ・ ク リ ー ナ ー 事 業 部
キ ッ チ ン ア プ ラ イ ア ン ス 事 業 部
ビ ュ ー テ ィ ・ リ ビ ン グ 事 業 部
ホ ー ム エ ン タ ー テ ィ ン メ ン ト 事 業 部
モ ー タ 事 業 部
ス マ ー ト エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 事 業 部
パ ナ ソ ニ ッ ク サ イ ク ル テ ッ ク (株)

AVCネットワークス

イ ー メ ー ジ ン グ ネ ッ ト ワ ー ク 事 業 部
ス ト レ ー ジ 事 業 部
ビ ジ ュ ア ル シ ス テ ム 事 業 部
ア ビ オ ニ ク ス 事 業 部
I T プ ロ ダ ク ツ 事 業 部
セ キ ュ リ テ ィ シ ス テ ム 事 業 部
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン プ ロ ダ ク ツ 事 業 部
オ フ ィ ス プ ロ ダ ク ツ 事 業 部
イ ン フ ラ シ ス テ ム 事 業 部
シ ス テ ム ソ ル ュ ー シ ョ ン ズ ジャ パ ン カ ン パ ニ ー

オートモーティブ&インダストリアルシステムズ

イ ン フ ォ テ ー ン メ ン ト 事 業 部
電 装 シ ス テ ム 事 業 部
エ ネ ジ ー デ バ イ ス 事 業 部
パ ナ ソ ニ ッ ク ス ト レ ー ジ バ ッ テ リ ー (株)
小 型 二 次 電 池 事 業 部
車 載 電 池 事 業 部
キ ャ パ シ タ 事 業 部
回 路 部 品 事 業 部
機 構 部 品 事 業 部
電 子 材 料 事 業 部
制 御 機 器 事 業 部
パ ナ ソ ニ ッ ク セ ミ コ ン ダ ク タ ー ソ ル ュ ー シ ョ ン ズ (株)
パ ナ ソ ニ ッ ク プ レ ジ ョ ン デ バ イ ス (株)
パ ナ ソ ニ ッ ク フ ァ ク ト リ ー ソ ル ュ ー シ ョ ン ズ (株)
パ ナ ソ ニ ッ ク 溶 接 シ ス テ ム (株)
パ ナ ソ ニ ッ ク 液 晶 デ ィ ス プ レ イ (株)

エコソリューションズ

ラ イ テ ィ ン グ 事 業 部
エ ネ ジ ー シ ス テ ム 事 業 部
ハ ウ ジ ン グ シ ス テ ム 事 業 部
パ ナ ソ ニ ッ ク エ コ シ ス テ ム ズ (株)

その他

パ ナ ホ ー ム (株)
シ ス テ ム L S I 事 業 部